

用語解説

(※) **BMS**：ビーフ・マーブリング・スタンダードの略で、肉質等級の項目のうち、脂肪交雑（サシ）の評価基準。

(※1) **ペイシエントハラスメント**：医療現場において医療従事者が患者やその家族から受けるハラスメント。

(※2) **フェアプライス**：消費者だけでなく、生産者や販売者、農業を取り巻く状況などにも配慮した適正価格。

(※3) **OP**：オリジネータープロフィール。情報に、コンテンツの発信者や信頼性を示すデジタル識別子を付与する技術。

(※4) **COP28**：国連気候変動枠組条約第28回締約国会議。令和5年11月から12月にアラブ首長国連邦（UAE）・ドバイで開催。



内田 博長 議員

選挙区 日野郡
会派 自由民主党

本県の山野を守る人材の待遇改善

問 造林作業に必要な下刈り作業賃が、隣県等と比べ大きな格差が生じている。地域ごとの賃金単価により、県境地域では賃金の高い方へ人材が流れてしまい、林業振興に停滞が起こる。国がつくっている格差の問題だが、待遇改善施策のためどのように取り組まれるのか。

答 仲間の知事と活発に話をしており、公共工事や林業等の単価は、全国であまり格差をつけなくてもできる仕組みを検討すべきではないか。そのような提案をしていく。



浜田 一哉 議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

デジタル社会における課題について

問 いじめや不登校は減らず自殺は増加している。豪州など諸外国でも同様の傾向があり、特にSNSの利用を年齢制限するなどの対策を講じるなどの動きもある。抜本的な対応策を検討すべき。

答 アメリカでも、子どもを守るための一定の規制が手法として成立してきている。子どもたちがいじめや犯罪に巻き込まれないよう、事業者に対する制限や使い方について、危険な目に合わせないための対策は考えること。国に対して、そうした検討を促していく。

江原特別自治道との交流

11月9日、鳥取県・江原特別自治道友好交流30周年記念行事に出席するため来県した金是晟（キム・シソン）江原特別自治道議会議長と浜崎晋一鳥取県議会議長は、面談を行った。両議長は、両県・道の議会交流の再開を受けて、2024年7月に鳥取県議会議員団が江原特別自治道議会を訪問して以来の再会であり、終始和やかな雰囲気で行われた。面談の冒頭、金是晟議長から、「30周年にとどまらず、40周年、50周年、100周年と仲良く交流を続けていきたい。」と、議会同士の交流も含めた両県・道の友好交流継続への期待が表明された。2025年、鳥取県議会と江原特別自治道議会は、2010年の「友好交流に関する合意書」締結から15周年を迎える。両地域の交流深化に鳥取県議会としても参与したい。



鳥取県議会タスクフォースの活動

新たに有権者となる高校生に議会や議員を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図るため、鳥取県議会内に立ち上げたプロジェクト・チーム「鳥取県議会タスクフォース」の発案により、11月21日に高校出前講座を開催した。議員が県立倉吉総合産業高校を訪問し、同校2年生約160名と意見交換を行った。

